

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 12月 27日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県草津市矢倉2丁目3番1号
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
ニチコン草津株式会社
代表取締役 森 威男
第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項の規定に基づき、事業者行動計画を策定(変更)事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	ニチコン草津株式会社 代表取締役 森 威男
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県草津市矢倉2丁目3番1号

1 事業所の概要

事業所の名称	ニチコン草津株式会社							
事業所の所在地	滋賀県草津市矢倉2丁目3番1号							
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	8	2	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 抵抗器・コンデンサ・変成器・複合部品製造業		
事業の概要	電気器具製造業							
従業員の数	396 人			操業時間		8 時間／日		
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者							
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	☐ 任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備	46	台	照明設備	台
	コンプレッサ	11	台	空気調和設備	296	台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2024 年度	報告対象年度	年度
	終了年度	2026 年度		

3 計画の(内容・実施状況)

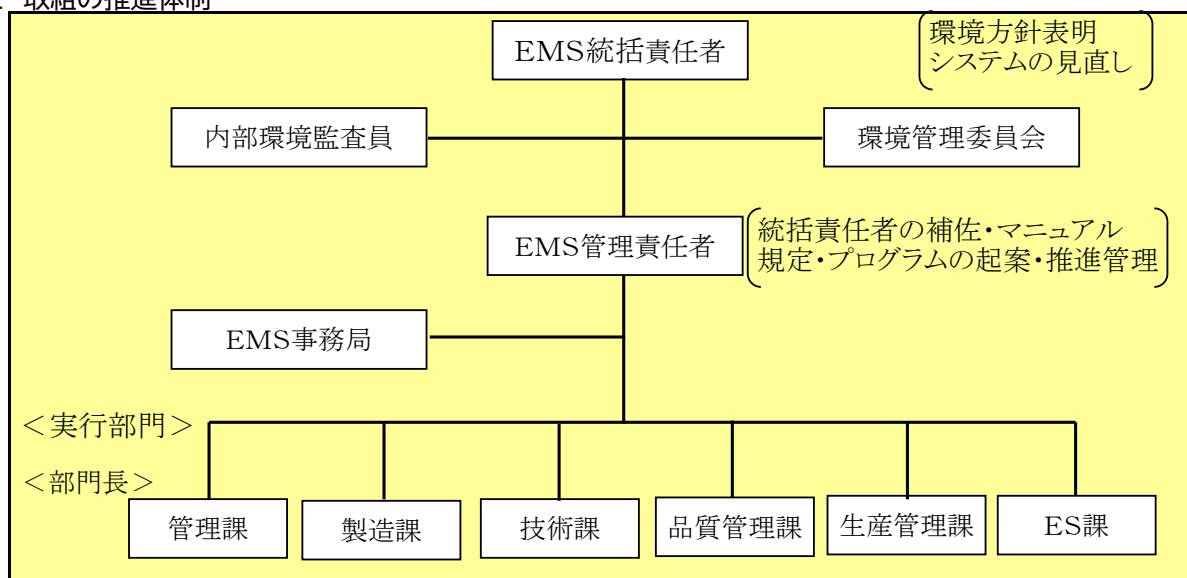
計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

当社は「地球との共生」「人と地球に優しい社会」の実現を目指して行動します。工場が隣接する琵琶湖は「マザーレイク」と呼ばれ、近畿の飲料水源となっている世界でも希な「母なる湖」です。私達は琵琶湖をとりまく自然環境保全に最大限の配慮をするとともに、コンデンサ及び応用製品の開発・生産にかかわる環境側面並びに、リスク及び機会を常に念頭に入れ、地域社会とのつながりを大切にして企業活動を推進します。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

1. ニチコングループの環境憲章に基づき、経済的、技術的に可能な範囲において、組織体制をもって環境目標・プログラムの設定と定期見直しを行い、環境パフォーマンス向上のため環境マネジメントシステムの継続的改善及び環境汚染予防を図ります。
2. 環境関連の法律、規則、条例その他の要求事項を順守するとともに、社内の自主管理基準を定め環境保全に努めます。
3. 循環型社会形成への取組みとして、環境への影響を配慮した製品の提供に努め、資源の有効利用、使用エネルギーの削減並びに、資源の再利用・リサイクルを推進し廃棄物の削減に取り組めます。
4. 当社の事業活動・製品・サービスにかかわる著しい環境側面の改善と汚染防止を図るとともに、オゾン層破壊物質、地球温暖化物質及び有害な化学物質の削減と汚染物質代替えを推進し、環境負荷低減に取り組めます。
5. 生物多様性の保全に努めます。
6. 当社で働く人又は当社のために働くすべての人に対し、環境方針の周知と環境に関する意識向上を図るために、教育・訓練及び社内広報活動を行います。
7. 地域住民とのコミュニケーションを図るとともに、工場周辺の美化活動並びに地域活動により地域社会との協調を図ります。
8. 環境監査を実施し、自主管理活動の継続的改善に努めます。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	ボイラ蒸気削減 ①蒸気配管の保温修理 ②スチームトラップの蒸気洩れ修理	2024年～2026年	
2	運用改善	昼休み時の照明消灯タイマー設定等の消灯等による電気使用量の低減	2024年～2026年	
3	設備導入	LED照明活用及び更新による低減	2024年～2026年	
4	運用改善	生産設備の運転時間管理 効率の良い運転計画により電気使用量の低減	2024年～2026年	
5	設備導入	コンプレッサーの消費電力削減 省エネタイプへの更新、エアー漏れ箇所の修理による電気使用量の低減	2024年～2026年	
6	設備導入	エアコンの温度適正化、高効率化及び省エネタイプへ更新 1)室温の温度管理 2)フィルターの清掃 3)R22	2024年～2026年	
7	運用改善	電気自動車・HV車更新活用による低減	2024年～2026年	
8	運用改善	歩留り向上による省エネ	2024年～2026年	
9	運用改善	リードタイムの短縮による省エネ	2024年～2026年	
10	設備導入	設備改善による省エネ	2024年～2026年	
11	運用改善	蓄電、ピークカットによる放電 (自社商品分散電源の導入活用)	2024年～2026年	
12	運用改善	都市ガス用ボイラ活用による低減 A重油2.71/kl→13A都市ガス2.28/千m ³	2024年～2026年	

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	非エネルギー起源CO ₂	電気自動車・HV車導入による排気ガスの低減 (自社用品急速充電活用)	2024年～2026年	
2	非エネルギー起源CO ₂	空調機特定フロン(CFC・HCFC)タイプの更新	2024年～2026年	
3	非エネルギー起源CO ₂	自然エネルギーの有効活用(太陽光)	2024年～2026年	

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
古い設備は新規導入を行い、運用改善を図り、工程に関しても運用改善を図り省エネルギーを図ります。	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の 実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー 使用量	kL	3,878					
温室効果ガス 総排出量	t-CO ₂	6,306					
エネルギー起源 CO ₂	t-CO ₂	6,306					
非エネルギー起源 CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						

N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						

エネルギー等原単位の推移						
--------------	--	--	--	--	--	--

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	自然エネルギーの有効活用(太陽光)	2024年～2026年	
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	旧式空調機をインバーター式への更新
2	樹脂硬化炉の熱廃棄口に熱交換機取付
3	局排ファンに自動停止回路取付
4	高効率絵LEDへ更新
5	屋上散水による空調機の省エネ

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	24	kW	水力・小水力		kW	地熱		kW
太陽熱		kW	バイオマス		kW	その他 ()		kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績								

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	168					
上記のうち 自家消費量	kWh						

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
自然エネルギーの蓄電・使用による資源消費の低減(化石燃料)、地球温暖化防止、ピークカットやピークシフト等系統電力を抑制します。 又大震災等の災害時に非常電源としても利用できる分散電源を製作販売しております。	
	CO ₂ 削減貢献量
	t-CO2

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
・CO₂の大幅な低減(売電の比較) 3.27t削減(1回/日満充電にて365日使用想定計算) ・災害時の非常用電源としての活用。 ・資源消費(化石燃料)の低減。 ・ピークカットやピークシフト等系統電力を抑制。

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	6,306					
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	6,306					
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.360					
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂	6,306					
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	運用改善	電気自動車・HV車更新活用による低減	2024年～2026年	
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台	6					
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	3					
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1				
2				
3				
4				
5				